

◎第5回理事会 (35.10.26) 出席者: 沼田会長, 富樫, 滝山副会長, 阿部, 尾之内, 岡本, 小西, 佐藤, 林, 八十島, 末森専務の各理事および石原, 福田, 吉藤の各日本学術会議会員。一般議事に先立ち学術会議会員より科学技術会議の学術会議に諮問された「10年後を目標とする科学技術振興の総合的基本方策について」を中心に学術会議の意見の概要の説明があり, 内容について学会で検討の上意見を出すようにとのことであった。これに関連する問題として小西理事より科学技術者, 特に土木技術者の不足している現況に対して, 理工系学生の増強策について文部省への働きかけを促進したいとの意見が出され, さらに調査して次回に案を出すこと。議事: (1) 地震に関する国際組織の結成について土木学会の協力要望を了承し, 来年度予算を計上することとする。(2) 吉田徳次郎博士記念事業については学会の外部の事業として運営方針を検討すること。(3) 東洋レヨン科学振興会の事業については各支部に資料を流し応募者を求めること。(4) 阪神都市圏計画調査委員会の第1期調査報告書の内容検討は地域の委員にお任せする。(5) その他1. 国際溶接会議派遣候補者推薦(小西一郎, 明石重雄, 国鉄関係を予定)。2. 海外連絡委員会構成を決定し委員委嘱をすること。3. 技術士本試験に関する科学技術庁の諮問についての回答。4. 尼崎製鉄の異形鉄筋の試験研究を受託。5. 水理委員会委員長交代を承認し伊藤 剛氏にお願いする。6. 学術会議地球物理学研究連絡委員会陸水分科会の委員に米元卓介, 井口昌平両氏を推薦すること。

◎各種委員会

(1) 第6回土木技術者資格研究委員会 (35.9.30) 出席者: 鈴木委員長, 安芸, 佐藤(代間瀬), 奥田, 清野(代八谷), 高畑, 富樫, 比企, 西嶋, 小林の各委員, 樽井幹事。議事: 1) アメリカの Professional Eng. の試験制度について説明があり, これを参考として土木士の試験制度を立案すること, 2) 建築基準法の条文「係る」の意味についての建設省の見解について。3) 土木士法案の根拠をさらに検討すること等。

(2) 第2回文献調査幹事打合せ (35.10.3) 出席者: 久野委員長, 安芸, 石原, 丹, 竹下の各委員, 日野幹事。議事: 各種分類について基本分類をつくった。

(3) 第10回PC改訂小委員会 (35.10.4) 出席者: 国分委員長, 山田(代塚山), 猪股, 川口, 清野, 樋口, 松野, 今村, 中村, 杵掛, 上前, 宮崎(昭), 小田, 野口, 板垣(代猪又), 白島, 大西, 木庭, 湯田坂の各委員, 井上, 船越の両幹事。議事: 1) 改訂第2原案 19条~23条を逐条審議。2) 次回11日には, 鋼材関係について審議願う事になっているがその次の開催日を10月25日に予定。3) グラウト委員会につき, プリージング, コンシステンシーについて等打合わせた。

第11回PC改訂小委員会 (35.10.12) 出席者: 国分委員長, 宮崎(義), 山田, 猪股, 三浦, 川口, 清野, 樋口, 松野, 今村, 上前, 宮崎(昭), 小田, 野口, 板垣(代猪又), 白島(代上野), 大西, 湯田坂, 木庭の各委員, 井上, 船越の両幹事。神戸製鋼(中野, 谷, 山本), 高周波熱練(小池), 興国鋼線(金原), 東京製鋼(新保, 野本), 鈴木金属(中川, 三瓶), 住友電工(宮川), 神鋼鋼線(山口)の各氏。議事: 1) 第2次原案により鋼材に関する規定を決めるべく, 今回は鋼材会社よりも出席していたが, 8条PC鋼の種類, 9条鋼線およびPC鋼より線, 11条PC鋼棒, 17条品質試験, 37条PC用鋼のヤング係数の各箇条を審議した。2) 次回は10月25日にその次は11月4日に決定。

第12回PC改訂小委員会 (35.10.25) 出席者: 国分委員長, 山田(代塚山), 猪股, 川口, 松野, 今村, 清野, 小寺, 丹, 中村, 上前, 宮崎(代泉), 小田, 野口, 大西, 白島(代上野)の各委員, 井上, 船越の両幹事。議事: 1) 第2原案 24条コンクリートの養生, 許容応力度 62条, 63条, 64条を逐条審議。2) 第14回委員会を11月15日(火)に決定。

(4) 第5回文献調査委員会 (35.10.5) 出席者: 久野委員長, 安芸, 石井(代), 石原, 城所, 鮮干, 高野, 徳田の各委員, 日野幹事。議事: a) 45巻10号登載抄録, 目録の選定。b) 文献分類, パンチカードについて幹事会の状況を説明。c) 委員の交代: 大西委員(鉄研)が新幹線の仕事の都合で竹下貞雄氏(33年京大卒, 鉄研)と交代。d) その他。

(5) 構造物耐震設計研究委員会 (35.10.6) (特別委員会) 出席者: 岡本, 久保, 川口, 河野, 池田, 大地, 白石, 田村, 宮崎, 上前, 小寺, 伊藤, 森野, 笹沼の各委員。議事: 1) 配布資料 石膏橋脚振動試験(その1)により森野, 小寺両委員が, 現在までの実験結果および進捗状況につき説明, 今後の研究方針等打合わせた。2) 次回委員会開催日は11月14日(月)17時30分と予定し, このときに基礎の振動データを持ち寄りお考えいただく。

(6) 第5回会誌編集小委員会 (35.10.7) 出席者: 斎藤委員長, 堺副委員長, 林(茂), 谷田沢, 吉田の各委員。議事: a) 45巻10号口絵写真, ニュースの選定。b) アンケートの件。c) 45巻11号会誌編集につき最終的打合わせを行なった。d) 12号の企画について意見を交換。

(7) 第42回耐震工学委員会 (35.10.18) 出席者: 那須委員長, 田原, 横田(代), 小西(代後藤), 畠山, 友永, 野田(代), 岡本, 星埜, 久保各委員。報告および協議事項: 1) 地震工学トレーニングセンターについて報告。2) 第4回地震工学研究発表会の準備について。3) 次回講演を Malpasset Dam の現地報告をきくこと。4) 田原委員の名城高速道路尼ヶ崎一栗東間の高架橋の構造について設計, 決定までの経過および耐震性の検討についての講演があり, 主として耐震設計について討議された。5) 次回は12月6日に予定する。

(8) 第5回会誌編集委員会 (35.10.21) 出席者: 斎藤, 堺副委員長, 足立, 井前, 斎藤, 相良, 西田(代城所), 山本(代大塚), 山門, 米沢(代青木), 渡部, 後藤(東北), 増田(中部, 代加藤), 田中(関西)の各委員。末森専務理事。議事: a) 審査中原稿の審査報告。b) 新規受付原稿審査委員の決定。c) 依頼原稿について。d) 12号(増大号)は予算の都合で100ページ前後とする。e) アンケートについては最終的な案を得たので10月中に実施する。f) アンケートの結果を編集に反映させることを申合わせた。g) 委員交代の件。h) 委員会昼間開催の件を了承。i) 45巻12号登載原稿を次のとおり予定した。尾之内由起夫: わが国における道路標識の諸問題, 小西是夫: 建設業の現況と当面する諸問題, 畑中次雄・福岡正巳: 試験堤防の破壊実験について, 日本道路公園若戸橋工事事務所: 若戸橋工事に際して行なった調査, 志村清一: 宅地対策の方向について。

(9) 第7回土木技術者資格研究委員会 (35.10.25) 出席者: 鈴木委員長, 柿野, 尾之内, 石橋(代国川), 武井(代林), 富樫, 比企, 増山, 和仁, 平山の各委員, 樽井幹事。議事: 主として土木士法の立案にあたり資格, 建築基準法との関連事項について論議され, それを骨子として建設省でまとめることとした。その他技術士試験に関する科学技術庁の諮問に対して意見を交換した。

(10) 水理委員会 (35.10.26) 出席者: 安芸委員長, 岡田, 浜田, 林, 本間, 伊藤, 小川, 坂本, 嶋, 米屋, 市浦, 岩垣,

(代石原安雄), 田中 清, 田中 茂の各委員, 千秋幹事長。議事および報告: 1) 委員長を伊藤委員と交代, 委員は各支部の意向を求めた上で交代案を作る, 定員についても追って相談する。2) 委員の任期を2年とし来年4月からとする。3) その他。4) 本間委員のオランダ国際会議および欧米巡遊の報告。5) 安芸委員長エカフエ (国連アジア極東経済委員会) の治水水利開発局長にご赴任につき歓迎茶話会を催した。

2) 参加者: 504 名

(2) 第2回見学会 (35.9.30)

1) 見学先: ①大野ダム工事, ②松谷橋

2) 参加費: 400 円

3) 参加者: 50 名

(3) 第3回見学会 (35.10.7~8)

1) 見学先: 北陸トンネル工事

2) 参加費: 1000 円 (外に敦賀まで汽車賃自弁)

3) 参加者: 30 名

(4) 第6回幹事会 (35.10.21, 大阪建設会館)

出席者: 小西幹事長, 伊藤, 毛利, 打田, 小林(代今井), 岡田, 大村, 宮崎 (代藤村), 井部の各幹事

(5) 第3回学生見学会 (35.10.22)

1) 見学先: 阪奈道路, 近鉄ドライブウエー

2) 参加費: 50 円

3) 参加者: 93 名

支 部 だ よ り

◎関西支部

(1) 盛土の締めめ施工に関する講習会 (35.9.28), 会場 (講習会 大阪府職員会館, 実演場 建設省大阪機械整備事務所) 主催: 日本建設機械化協会関西支部・協賛 土質工学会関西支部, 土木学会関西支部。

1) 参加費: 100 円

編 集 後 記

今年もいよいよ残り少なくなってきました。宇宙科学は, 月ロケット, 人工衛星と驚異的な進歩をとげ, 衆目を集めた感がありました。土木技術面においても, ダム建設はもとより, 名神高速道路, 東海道新幹線等と世界的水準をゆく工事が次々に開始されており, 一歩一歩着実な歩みを進めていることは誠に喜ばしい限りです。

毎年秋になると天災だと論議をかもしおなじみの台風も, ごく一部の地方をのぞき被害を受けずに済み, ほとと一息ついたところでは。

編集関係者一同, 読者の皆様により一そう親しんでいただき, 同時に技術の向上に資するような内容を盛り上げるよう努力しておりますが, 今回委員の間でアンケートにより, その目的にそのようなテーマを集め, それぞれの権威者に原

稿をお願い致しました。時宜を得た問題も相当ふくまれていると思います。

8月号より目次を見やすいように改めてみましたがいかがでしょうか。このカードだけ切離してファイルされても, 後日の参照に御便利かと思えます。

12月にも興味ある記事等の幾つかを予定しております。

【林 茂樹】

会員入退会について (昭和35年10月31日現在)

1. 入 会	121 名 (正 85, 学 32, 特2 3, 特3 1)
2. 転 格	8 名 (特1 Aより特級へ 8)
3. 退 会	27 名 (正 26, 学 1)

会 員 現 在 数 (昭和35年10月31日現在)

名誉	賛助	特級	特1 A	特1 B	特1 C	特2	特3	正員	学生会員	増加	合計
32	30	8	11	21	103	128	126	13 620	1 196	94	15 275

正員	山口 季 男 君	栃木県土木部長	昭和35年9月22日死去	55 才
正員	横 堀 正 範 君	農林省八郎潟南部干拓建設事業所	昭和35年10月20日死去	56 才
正員	福 森 宇 三 郎 君	KK奥村組技術部長	昭和35年4月28日死去	63 才
正員	古 田 吉 太 郎 君	和歌山県土木部砂防利水課	昭和35年9月24日死去	50 才
正員	劉 心 寛 君	Colorado State University Associate Civil Engineer	昭和35年9月12日死去	38 才
正員	宮 川 武 男 君	国鉄, 長鉄, 施設部工事課	昭和35年9月3日死去	39 才

昭和35年11月10日印刷

印刷者 大沼正吉

発行者 末森猛雄

定価 100 円

昭和35年11月15日発行

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人土木学会

振替 東京 16828 番

土木学会誌 第45巻 第11号

東京都港区赤坂溜池5番地

東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)

電話 (351) 5130・5138・5139 番